

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	支援ハウスまつぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所であるので、保護者と一緒に子どもの発達段階に気付き、関わりに繋がる支援ができる。	子どもに必要な支援のやり方が保護者に伝わるように、活動中や活動後にわかりやすく伝えたり、一緒に考えて、保護者の気付きや納得に繋がるような対応をしている。	保護者の気付きや納得した理解の仕方になっているか、定期的に面談を行っていききたい。
2	心理専門員に発達段階を見てもらい、支援の方向性を共通理解出来ている。	定期的に心理専門員から保護者に向けて話をする機会を設けている。	心理専門員からの話の理解がどの程度であるのか、保護者の意見を聞き、改善につなげていきたい。
3	戸外には築山、砂場、土場があり、裏庭にはどんぐりや果樹も植えているので、十分に身体を動かしたり、感触遊びを楽しめる環境となっている。	・太陽の日を浴びながら心地よく戸外でも活動が出来るようにしている。 ・夏場は、日よけを設定している。 ・虫探しの体験ができるようにしている。	今後も、子どもが発見し、観察したり、不思議に思う感性等にも丁寧に対応していききたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昼食やおやつを提供を行っていないので、食事の様子がわかりにくい。	食事を提供する時間はないが、活動でクッキングを取り入れているので、その際、食事の仕方、偏食、噛む力等の把握を行っている。遊び込む体験を優先にしている。	通園先や家庭での食事の様子を把握していき、食育への取り組みを行う。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	支援ハウスまつぼっくり					公表日	令和8年 2月 24日	
						利用児童数	21	回収数 20
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	0	・いつも綺麗ですごしやすいです。 ・広々としています。 ・広い部屋で限られた人数なので安全に活動できています。	一人一人が安全に過ごせる過ごせるように、予測した環境設定を行ってまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	1	・一人一人に目が届く配置です。 ・私と息子の診断書を提出させていただいたのですが、私が同時に何かをすることが苦手なので大事なお話の際に、息子を見てもらえるような配慮していただいている状況です。今後ご協力していただけたらと思います。	こどもの状況に合わせて、一人一人が安心して過ごせるように、職員配置をしていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	0	・こどもが自分で考えて動くのにわかりやすい構造です。	落ち着いて着替えが出来る場所と、活動の場所を分離するなどの配慮をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・無駄な物はなくいつも清潔で気持ちいい。 ・常にとても清潔で掃除が行き届いています。 ・いつも綺麗です。使った玩具も毎回消毒されていて安心して扱えます。 ・マットや玩具の消毒や拭きあげもその都度して清潔な環境で活動できています。	毎日活動前の安全点検と、清掃、消毒をごまめに行っています。	
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	・客観的に見て、自分のこどもがどのような感じなのか、先生方はどう感じているのか気になる事もあります。 ・心理の先生も一緒にとても強い。	保護者の方の不安や心配に寄り添った支援を、今後も丁寧に行ってまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0	・いつもこども達が楽しんで取り組めるよう、工夫されている。	支援プログラムの内容を踏まえた支援の実施で、こども達がいつも楽しく過ごせるように努めています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	・理解しようと取り組まれていると感じます。 ・こちらの思いを十分に汲み取ってくれた計画をいただいていると思います。	本人や保護者のニーズを汲み取り、事業所での共有や検討を行い、個別支援計画を作成してまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0	・わかりやすく設定、提示してくれている。	個別支援計画では、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の内容について保護者に説明を行い、具体的に支援を行うよう心掛けていきます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0	・どのような目的で扱っているのか都度伝えてくださっています。 ・毎回違うプログラムが用意されており、工夫が感じられます。 ・いろんなプログラムがあるのでありがたいです。家では中々できないこと（スライムづくり、ビーズの紐通し）が経験出来ています。 ・毎回活動が違うのでマンネリ化せず、子どもも楽しく活動しています。	活動プログラムが固定化されないように工夫していき、こども達の意欲を引き出していきたく思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	2	3			
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0				
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	・毎回、文字に起こして理解しやすく工夫されています。	支援の内容をわかりやすく丁寧に伝えていきます。		

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	0	0	・心理の先生の講義が定期的に受けられます。	心理専門員の講話後の保護者の方のご意見を踏まえたプログラムを作成し、保護者の方に満足していただけるようにしていきます。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	0	0	0	・よく普段の様子を聞いてくださいます。 ・子どもの状況を伝え合うと同時に、親の気持ちや疑問等にも対応してもらえて嬉しい限りです。 ・子どもの状況や、どのような声掛けをすればいいかなど、その都度アドバイスくださいます。	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0	・先生方が相談しやすい雰囲気を作ってくださいているので、大変助かっています。 ・何かあると先生にすぐに相談できる環境だと思います。 ・先生方からもありますし、心理の先生の講話もとても参考になります。乳幼児期のことは一歳の弟に活かしています。 ・こんなことでも話をしていいのだろうか？ということも親身になって聞いてくださるので、一人じゃない！という安心感も得られています。親に余裕があると子どもも落ち着いていることが多いなと実感させられます。 ・面談もしていただいておりますが、その他でも気になる事などその都度相談させてもらっています。 ・いつも、とても参考にさせていただきます。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・先生方みんな本当に共感的です。 ・親の目線から見て共感してくださいます。 ・母子共に寄り添う言葉をかけていただいております。いつもありがとうございます。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	2	1	0	・父親主体のイベントがあり、大変良かったように思います。意識が変わるきっかけになると思うので今後ぜひ父親主体の茶話会などあってもらえたら嬉しいです。 ・普段から親子同伴という形で、保護者同士も仲良くなりやすい環境だと思います。 ・季節の行事やいちご狩り、保護者同士の交流会など定期的に催されています。 ・仕事的にあまり参加出来ていませんが、イベントは沢山あると思います。普段の活動で会わないメンバーと会った時にも少しお話が出来たらいいなと思います。 ・きょうだい向けのイベントがあれば参加したいです。 ・季節の行事やイベント等で保護者同士の交流が図られている。 ・保護者同士の交流が沢山出来るととてもありがたいです。きょうだい向けのイベントがあると嬉しいです。 ・きょうだい同士交流等はありませんが、保護者会は定期的に設けており、と	・お父様同士が交流する機会を設けていき、子育てへの関心をより深めていきたいです。 ・イベントの際に、普段の活動では会わない方同士がお話出来る場を作り、情報交換が出来るようにしていきたいです。 ・きょうだい向けのイベントを開催し、きょうだい同士の交流の中で、きょうだいの方も満足していただける支援を心掛けていきます。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	1	・申し入れの経験がないので、何とも言えませんが、きっと適切に対応してくださいと思います。	相談の申し入れと、対応の体制を明確にして、安心して相談できるようにしていきます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	・積極的に対話のタイミングを作ってくださいた話しやすいです。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	2	・毎月計画表や予定表など、丁寧に作成していただいております。 ・LINEやインスタなどの情報提供やお知らせがあるより便利だと思おう。	LINEなどでの情報ツールを利用して、保護者の方が便利に情報収集できるようにしていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1	・不審に思った事はありません。	今後も個人情報の取り扱いに十分留意していきます。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	2	・手洗いの手順が掲示されています。 ・各マニュアルは見やすい場所へ提示しており、訓練も実施しています。	各マニュアルについては、保護者の方への周知と説明を丁寧にしています。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が行われています。 ・火災や地震など想定を変えて定期的に避難訓練があります。 ・定期的に避難訓練の時間が設けられています。 	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・少しのことでもきちんと伝えていただきました。 ・現時点で該当なしです。 	今後も、事故や怪我のないように安全に留意していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心と信頼があり、とても心を許される場になっています。 ・先生方やお友だちに対しての信頼感があり、自分の思いを言葉で伝えられるようになりました。 ・毎回、とても楽しみに通っています。 ・とても生き生きとして先生たちと過ごしております。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しそうに通所しています。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・毎回楽しそうに参加しています。私自身も参加出来る日はとても楽しいです。子どももまっぼくりに行く日を確認する程楽しみにしているようです。 ・毎週楽しみにしています。幼稚園よりも少人数の集団の中なのでリラックスしています。 ・とても楽しみにしており、お家でも、早く行きたいなあとお話してくれます。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子共にとても満足しています。ありがとうございます。 ・この一年ですごく成長しました。まっぼくりで、丁寧に関わってもらって、職員の皆さん一人一人すごく子どものことを理解して声掛けして下さってありがとうございます。 ・いつも先生たちには、日々の生活の中で役立つアドバイスをいただき、子どもも楽しく過ごしています。 	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 2 月 24 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		自由遊びの際も、集団（身体を動かさず遊び）や個人（机上での遊び）が出来るよう工夫している。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たし、より丁寧に支援できるような配慮を心掛けている。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		写真やイラスト等用いてこども達にわかりやすいよう提示している。	玄関に段差があるので、バリアフリー化を必要とする利用者を受け入れた際は配慮していきたい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		心地よく使用できるように玩具の消毒も毎回行っている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて個別に取り組めるような場所も設定している。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全職員で日々の振り返りや月一回の会議を通して、見直しを行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者からの意向等、職員間で話し合い、業務改善に繋がる取り組みをしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		意見を言いやすい風通しのよい環境づくりを心掛けている。その都度向上に繋がるよう業務改善に努めている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修や内部研修に参加できるようにしている。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		職員間で話し合い作成し、閲覧しやすい場所に掲示している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の活動の様子の記録と振り返りであがった課題を通して、ニーズに基づく計画作成を行っている。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		こども一人一人に対して、今の状況や必要な支援など、様々な角度から検討していけるようその都度、職員全体で話し合っている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を全職員が確認を行い共通認識の下、支援ができるようにしている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしている。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い、作成している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		立案を基に参加職員全員で行っている。	個々の発達段階を全職員で把握し、それぞれの課題に合った活動内容を検討していきたい。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		こどもの様子に合わせ、固定化しないよう工夫するとともに、子どもの成長も感じられるような活動も取り入れている。		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別対応をする際、思いの汲み方、やり取りを大切に、集団活動への移行と満足できる関わりを大切にしている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回のこども、保護者の様子や思いを振り返り、どういった支援が必要なのかを再度確認し、連携がとれるようにしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間でその日の支援で気付いたことを共有し、保護者にも伝えている。	次回にどう活かしていくか、職員間で周知できるように共有の仕方に気をつけていきたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			関係機関との連携について、保護者に理解してもらい、対応できる体制を整えておきたい。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前移行シートを作成し、小学校の担任と情報共有している。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターと積極的に連携が図れるようにしている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		こども園や幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会を設ける工夫をしています。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・親子通所なので、こどもの発達の状況や課題について共通理解しやすい。 ・家庭での様子も話してもらえ関係作りを大切にしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		心理専門員の視点とともにペアレントトレーニングの機会を設けている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意見を傾聴する時間を設けている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を丁寧に行い、同意を得ている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談等で話しをする機会を作っているが、面談以外の時間も必要に応じてじっくり話を聞く時間を作り、一緒に考えていけるよう取り組んでいる。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に一度、活動概要や活動予定を紙面で発行している。 ・親子分離で通所した際、活動の様子をコドモンで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			利用者の意向も確認しながら、地域住民との触れ合いの場も大事にしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		様々な災害を想定した訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者の方に、契約時と年度初めに個別で子どもの現状を記載してもらい、全職員で確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者が安心、安全に過ごしていただけるような安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度報告し、再発防止に向けた方策も記録に残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

